

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者	安江 麻里				
使用教科書	東書「科学と人間生活」(科人 701)	副教材	ニューサポート科学と人間生活		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×4 = 8 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 編 生命の科学 1 章 微生物とその利用 1 さまざまな微生物	○	○□		No.1	○	○	○	6
5	2 私たちの暮らしへの微生物の利用	○	○□		No.1 5/10	○	○	○	6
6	2 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 1 リサイクルとは何か 2 金属の性質とその再利用	○□	○□		No.2 6/21 No.3	○	○	○	1 6
7	3 プラスチックの性質とその再利用	○□	○□		No.3 7/12	○	○	○	6
8	試験対策								
9	前期期末試験 3 編 光や熱の科学 2 章 熱の性質とその利用 1 熱とは何か			○□	No.4	○	○		6
10	2 エネルギーの利用と私たちの暮らし	○	○□		No.4 10/18	○	○	○	6
11	4 編 宇宙や地球の科学 2 章 自然景観と自然災害 1 身近な自然景観の成り立ち	○□	○□		No.5 11/22	○	○	○	6
12	2 自然災害と防災	○□	○□		No.6 12/13	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)			○□		○	○		

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	情報Ⅱ 東京書籍	副教材	使用しない		
スクーリング	必要出席時間数	2単位×2＝4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2単位×3＝6枚			
期末試験	合格得点目標	平均 点の半分以上	<small>考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件</small>		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報としてその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

	指導単元・項目	学習方法			レポート (切 期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4.5	第1章「情報社会」		○□		No.1 5/15	○	○	○	14
6	第2章「コンテンツ」	○□	○□		No.2 6/13	○	○	○	6
7	前半のまとめ 前期テスト対策	○□	○□		No.3 7/02	○	○	○	2
8	—夏季休業—								
9	前期期末テスト 第3章「データサイエンス」			○□		○	○	○	6
10	第3章「データサイエンス」		○□		No.4 10/10	○	○	○	6
11	第4章「情報システム」	○□	○□		No.5～6 11/21	○	○	○	4
12	学年末テスト対策 1年間の総復習	○□							2
1	学年末テスト			○□		○	○	○	1

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	地理探究 東書		副教材		
スクーリング	必要出席時間数	3 単位×1 = 3 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	3 単位×3 = 9 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、現代世界の諸地域についての地理的認識を深める。さらに探究的な学習を通して、現代世界における日本の現状について理解する。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察し、地理的な課題の解決に向けて構想することができる。それらをもとに効果的に説明し、議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に、世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究、解決しようとし、深い理解を通して社会へ参画することへの意識を高める。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1編 第1章1節 世界の地形 2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	○	○□		No.1 4/30	○	○	○	
5	4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章1節産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節食料問題 4節エネルギー問題	○	○□		No.2 5/30	○	○	○	
6	5節 資源・エネルギー問題 6節 工業の立地と工業地域の変容 7節 第三次産業 第3章1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章1節 人口	○□	○□		No.3, No.4 6/30	○	○	○	
7	2節 人口問題 3節 村落 4節 居住・都市問題 第5章1節 生活文化の地域性	○□	○□		No.5 7/13	○	○	○	
8									
9	前期期末試験 2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題 第2編 第1章1節地域区分の意義と方法	○	○□	○□	No.6 9/29	○	○	○	
10	第2章1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア	○	○□		No.7 10/31	○	○	○	
11	4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ 7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ	○□	○□		No.8 11/30	○	○	○	
12	10節 オセアニア 第3編第1章1節 日本の地理的諸課題を読み解く 2節 持続可能な国土像の探究	○□	○□		No.9 12/14	○	○	○	
1	後期期末試験(3年)	○□	○□	○□		○	○	○	

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	日本史探究 東書	副教材			
スクーリング	必要出席時間数	3 単位×1 = 3 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	3 単位×3 = 9 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、現在とのつながりなどに着目して考察し、歴史に見られる課題を把握、解決を視野に入れて構想する。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について見通しを持って学習し、よりよい社会の実現を視野に入れながら、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1編 第1章 先史社会の生活と文化、第2章 歴史資料と先史古代の展望、第3章 1節 1 大和朝廷と古墳文化 2 飛鳥の朝廷と文化	○	○□		No. 1 4/30	○	○	○	
5	3 律令国家の形成と白鳳文化 4 平城京と天平文化、2 節 摂関政治と貴族文化	○	○□		No.2 5/31	○	○	○	
6	第2編 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開	○□	○□		No.3, No. 4 6/30	○	○	○	
7	第3編 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 1 節 1 江戸幕府と大名・朝廷	○□	○□		No. 5 7/13	○	○	○	
8									
9	前期期末試験 2 近世の身分と人々の暮らし 2 節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	○	○□	○□	No.6 9/29	○	○	○	
10	第4編 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 1 節 近現代制度の導入と新しい国際関係	○	○□		No.7 10/31	○	○	○	
11	2 節 国民国家と資本主義の誕生 3 節 両大戦期間の日本 4 節 第二次世界大戦と日本	○□	○□		No.8 11/30	○	○	○	
12	5 節 占領と改革 6 節 国際社会への復帰と高度経済成長期 7 節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8 節 新しい国際秩序と日本の課題 第4章 現代の日本の課題の探究	○□	○□		No.9 12/14	○	○	○	
1	後期期末試験(3年)	○□		○□		○	○	○	

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	科目	論理国語	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	新編論理国語 東書		副教材	新編論理国語 学習課題ノート	
スクーリング	必要出席時間数	4 単位 × 1	= 3 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	4 単位 × 3	= 12 枚		
期末試験	合格得点目標	30 点以上		考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会で必要とされる国語力を養い、日本語の奥深さを理解し、正しく使おうとする態度を身に付けさせる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使えるようにする。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	対話とは何か	○	○□		No.1、	○	○	○	4
		○	○□		4/30	○	○	○	5
5	少女たちのひろしま 学ぶことと人間の知恵	○	○□		No.2 No.3 5/31	○	○	○	5
6	思考の肺活量 弱肉強食は自然の摂理か	○□	○□		No.4 No.5 6/30	○	○	○	9
7	はじめに言葉がある	○□	○□		No.6 7/12	○	○		10
8	試験対策								
9	前期期末試験 最初のペンギン			○□	No.7	○	○		1
		○	○□		9/30	○	○	○	6
10	物語の外から 鏡としてのアンドロイド	○	○□		No.8 No.9 10/31	○	○	○	8
11	言葉はものの名前ではない 知識における作者性と構造的性	○□	○□		No.10 No.11 11/30	○	○	○	9
12	ホンモノのおカネの作り方	○□	○□		No.12 12/13	○	○	○	9
1	後期期末試験(3年)			○□					